

# 第15回JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会釧路地区予選

## 開催要項

- 目的** 釧路地区の少年サッカーのレベル向上を図るとともに、平成30年度第15回JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会北海道予選に釧路地区代表として出場するチームを決定する。
- 名称** 第15回JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会釧路地区予選
- 主催** 釧路地区サッカー協会
- 主管** 釧路地区サッカー協会4種委員会
- 後援** 釧路町教育委員会
- 期日** 平成29年9月9日(土)・10日(日)
- 会場** 釧路町多目的運動広場
- 参加資格**
  - 平成29年度(公財)日本サッカー協会第4種・女子に加盟登録したチーム及び選手。
  - 1チームの選手エントリーは16名以上20名以下とし、5年生以下の学年構成とする。
  - 本大会参加選手は、スポーツ安全協会傷害保険もしくはこれに準ずる傷害保険に加入していること。
  - 帯同審判を2名以上帯同できるチーム。
- 競技方法**
  - 8人制とする。競技方法は、トーナメント方式とする。
  - 試合時間は12分×3ピリオドとする。第1ピリオドと第2ピリオドは、選手を総入れ替えすること(GK含む)。第3ピリオドは自由に出場できる。第2ピリオドと第3ピリオドの間のみ、5分のインターバルをとる。
  - 第3ピリオドの中間点でエンドを替える。再開方法はキックオフ。
  - 勝敗が決しない場合は、PK方式(3名)により次回進出するチームを決する。準決勝・決勝のみ6分間(3分ハーフ)の延長戦を行い、それでも決しない場合は、PK方式(3名)で優勝チームを決する。
- 競技規則**
  - 競技規則は、本年度(公財)日本サッカー協会制定の『サッカー競技規則』及び『8人制サッカー競技規則』による。
  - チーム編成は、指導者4名、選手16名以上20名以下とする。
  - 登録選手全員が、主審の許可を得ずに、交代ゾーンを使用して自由に交代することができる。交代して退いた競技者は、交代要員となって再び出場できる。ただし、第1ピリオドに出場した選手は、第2ピリオドに出場できない。
  - 参加チームは試合開始前にメンバー表を提出する。第1試合に提出したメンバーが、本大会のエントリー選手となる。
  - 本大会において退場させられた者は、次の1試合に出場できない。そのチームの最終試合の場合は、次のエントリー大会に持ち越す。ただし、該当チームは交代要員の中から競技者を補充することができる。1試合停止以降の処置については、本大会の規律委員会で決定する。
  - 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
  - ベンチが判定に対して異議を唱えたり、選手に対して、罵声などネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降は、ベンチからのコーチングを不可とする。
  - 試合球は4号球(公認球)とし、事務局で準備することを基本とする。
  - スパイクは固定スタッドとし、レガースの着用を義務付ける。
  - ユニフォームは正・副2枚以上用意する。ユニフォームには背番号をつける。
  - ピッチサイズは68m×50mを基本とし、少年用サッカーゴールを使用する。
  - 3人制審判で行う。
- 全道大会** 優勝チームは、平成30年4月7日(土)～8日(日)に苫小牧市(予定)で開催される、「第15回JA全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー大会北海道予選」への参加を義務づける。
- 参加申込** 年度当初のエントリーに変更がある場合は、8月7日(月)までに、4種委員長に連絡する。
- メンバー表** プログラム用メンバー表は、8月28日(月)までに、4種委員長までメールで送付する。
- 組合わせ** 8月22日(火)の監督会議にて抽選を行う。
- 開会式** 行わない。
- 閉会式** 9月10日(日)の決勝戦終了後、決勝戦会場で行う。決勝まで残ったチームの選手・監督は、全員参加すること。
- その他**
  - 本大会の参加料は、1チーム3,000円とする。
  - 初日に選手証の確認を行う。
  - 抽選はフリーとする。
  - 出場するチームは、3級以上の審判、あるいは3級の強化指定を受けた審判を1名以上帯同する。帯同できない場合は、不帯同審判料を事務局に支払う。
  - 全道大会には、3級審判の帯同が義務づけられている。